

平成 19 年 11 月 27 日
文 部 科 学 省
経 済 産 業 省

第 11 回 将来世代の原子炉及び核燃料サイクルシステムの 研究開発に関する日仏専門家会合の開催結果について

この度、平成 19 年 11 月 8 日に、フランス原子力庁カダラッシュ原子力研究所内において、第 11 回 将来世代の原子炉及び核燃料サイクルシステムの研究開発に関する日仏専門家会合が下記のとおり開催されましたので、その結果について別紙のとおりお知らせ致します。

なお、次回会合は、来年 12 月に福井県敦賀市において開催される予定です。

記

1. 背景 :

本会合は、日仏両国間での高速増殖炉をはじめとする将来世代原子炉及び核燃料サイクルシステムの研究開発協力の進め方について、両国政府及び研究実施機関により政策レベルの協議を行うものです。

本会合は、平成 9 年 11 月に谷垣科学技術庁長官（当時）とピエレ仏国閣外産業大臣（当時）の会談において、高速増殖炉の研究開発における長期的な協力関係構築に合意したことを踏まえ、その具体的な協力の検討の場として設置されたもので、平成 10 年の第 1 回会合以降、これまでに計 10 回開催しています。

2. 日時 : 平成 19 年 11 月 8 日（木）

3. 場所 : フランス原子力庁（CEA）カダラッシュ原子力研究所内

4. 参加者 :

日本側 文部科学省、経済産業省、独立行政法人日本原子力研究開発機構、財団法人電力中央研究所、日本原子力発電株式会社

仏国側 高等教育・研究省、エコロジー・持続可能開発整備省、原子力庁（CEA）、フランス電力、アレバ

5. 議題 :

(1) 将来世代の原子力システム研究開発について

(2) 日仏共同研究の現状と将来見通しについて 他

以上

別紙

平成 19 年 11 月 8 日

第 11 回将来世代の原子炉及び核燃料サイクルシステムの研究開発に関する日仏専門家会合の開催結果について

文 部 科 学 省
経 済 産 業 省
仏 国 高 等 教 育 ・ 研 究 省
仏 国 エ コ ロ ジ ー ・ 持 続 可 能 開 発 整 備 省
日 本 原 子 力 研 究 開 発 機 構
仏 国 原 子 力 庁

2007 年 11 月 8 日に、日本国の松尾文部科学省研究開発局研究開発戦略官及び仏国のグット高等教育・研究省エネルギー・持続可能部長を共同議長として、第 11 回「将来世代の原子炉及び核燃料サイクルシステムの研究開発に関する日仏専門家会合」が、南フランス東部のカダラッシュで開催された。

日仏両国は、2006 年 12 月敦賀市で行われた前回会合以降、高速中性子炉技術の研究開発分野において緊密な情報交換を継続することや、将来世代の原子力システム(原子炉、核燃料サイクル及び水素製造)の研究開発における協力を強化することが重要であるとの認識のもと、共同研究や事業活動経験の交換を通じて実りある協力を行ってきた。

今回の会合では、両国の原子力政策の報告については、仏国側から高等教育・研究省及びエコロジー・持続可能開発整備省から、同国における原子力の現状及び原子力開発の長期政策が紹介され、日本国側からは、文部科学省から高速増殖炉サイクルの研究開発計画の現状、経済産業省から高速増殖炉の政策について紹介された。

各協力項目については、前回の会合以降の進捗状況が報告され、順調に協力が実施され、良好な成果が得られていることが示された。

両国は、原子力政策が世界中で再評価され、さらにウラン資源の有効活用やマイナーアクチノイド燃焼に活用される高速増殖炉の開発が積極的に進

められていることを認識するとともに、原子力についての二国間の研究開発協力は、将来のため極めて重要であるとの共通認識を再確認した。

日仏間における原子力分野での協力は、日仏二国間協力及び第四世代原子力システムに関する多国間協力(Gen-IV)の枠組みに基づいて着実に進展しており、さらに強化していくことを確認した。協力の例として、仏国原子力庁と日本原子力研究開発機構は、米国エネルギー省と共に、2007年9月に常陽及びもんじゅを利用した高速増殖炉燃料の研究開発に関する包括的アクチノイドサイクル国際実証(GACID)のプロジェクト取決めに署名した。また仏国原子力庁と日本原子力研究開発機構は、2007年6月に国際原子力エネルギーパートナーシップ(GNEP)の施設に関する米国エネルギー省のファンディング・オポチュニティー・アナウンスメント(FOA)に対する三菱重工業と仏アレバ社の応募を支援するための覚書に署名した。

仏国は、もんじゅ及び六ヶ所村核燃料再処理施設の運転開始への強力な支持を表明した。高速炉及び再処理施設の開発は、原子力の持続的な開発にとり本質的に重要であり、日仏間の原子力の研究開発協力分野における主要な要素である。

この協力は、日仏外交関係開設 150 周年にあたる 2008 年に、特に強調されるであろう。

次回会合は、来年 12 月に、福井県敦賀市で開催することが合意された。

以上

**第 11 回将来世代の原子炉及び核燃料サイクルシステムの研究開発に関する
日仏専門家会合
出席者リスト**

日本側

松尾 泰樹	文部科学省 研究開発局研究開発戦略官(核融合・国際原子力担当)
猪木 健	文部科学省 研究開発局原子力研究開発課調査員
新井 憲一	経済産業省 資源エネルギー庁原子力政策課企画官
近藤 悟	日本原子力研究開発機構 次世代原子力システム研究開発部門副部門長
秋本 肇	日本原子力研究開発機構 原子力基礎工学部門副部門長
中島 憲宏	日本原子力研究開発機構 システム情報科学センター次長
中井 良大	日本原子力研究開発機構 次世代原子力システム研究開発部門研究開発推進室 長代理
小巻 順	日本原子力研究開発機構 次世代原子力システム研究開発部門研究開発推進室 長代理
沢 和弘	日本原子力研究開発機構 原子力基礎工学部門、核熱応用工学ユニット、耐熱燃料 材料開発グループリーダー
窪山 明彦	日本原子力研究開発機構 人事部次長
萩原 康夫	日本原子力研究開発機構 契約部長
根本 伸一郎	日本原子力研究開発機構 契約部契約調整課長
岩坂 幸子	日本原子力研究開発機構 国際部副主幹
魚谷 正樹	(財)電力中央研究所 原子力技術研究所 研究参事副所長
黒田 雄二	日本原子力発電(株) 研究開発室長
藤吉 尚之	在フランス日本大使館 一等書記官(オブザーバー)

フランス側

ドミニック グット	高等教育 研究省 化学・応用科学原子物理 高エネルギー物理 エネルギー ・持続可能部長
ジル マトニエール	エコロジー・持続可能開発整備省 エネルギー・資源総局原子力産業課第 四世代原子力システム廃棄物担当官
フィリップ プラデル	フランス原子力庁 原子力開発局長
ジャン＝ルイ カルボニエ	フランス原子力庁 原子力開発局 原子力技術開発本部長
セルジュ デュラン	フランス原子力庁 カダラッシュ研究所所長
フランク カレ	フランス原子力庁 原子力開発局 原子力技術開発本部 副本部長
ダニエル イラカン	フランス原子力庁 原子力開発局 シミュレーション・実験ツール本部 ジュ ール・ピエール・カurie 炉計画部長
ジャック ルオ	フランス原子力庁 原子力開発局 原子力技術開発本部 ナトリウム冷却 高速炉計画部長

ドミニック オシエム	フランス原子力庁 原子力開発局 原子力技術開発本部 燃料処理・先進リサイクル計画部長
ティエリ リエヴァン	フランス原子力庁 原子力開発局 原子力技術開発本部 放射性廃棄物コンディショニング・貯蔵・処分研究開発計画部長
クリスチャン ショーリヤック	フランス原子力庁 原子力開発局 シミュレーション実験ツール本部 シミュレーション計画部長
ジャン フィリップ ナボ	フランス原子力庁 原子力開発局 燃料研究開発部長
ローラン マルタン	フランス原子力庁 フェニックス発電所所長補佐（国際担当）
ローランス ピケティ	フランス原子力庁 原子力開発局 局長補佐
ロベール カピティニ	フランス原子力庁 原子力開発局長付科学顧問
アラン ベルジョン	フランス原子力庁 原子力開発局 もんじゅ駐在員
ジャン ミッシェル デルベック	フランス電力 次世代炉研究開発担当部長
アラン ビュカイユ	AREVA 上席副社長 兼 研究・イノベーション事業本部長
ピエール イヴ コルディエ	在日フランス大使館 原子力参事官



The 11th Japan-France Specialist Meeting
On the R & D on the future generation nuclear reactor
and fuel cycle system
Cadarache Centre - France

AGENDA

November 8th, 2007 – Building 151, “salle polyvalente”

9.00 - 10.00 **Opening address**

- a) Current status on Nuclear Energy in France (D. Goutte, G. Mathonnière) – 30 min
- b) FBR Cycle R & D Plan in Japan (MEXT) – 15 min
- c) Current status of Nuclear Energy in Japan (METI) – 15 min

10.00 - 11.20 **Current status and long term view on R & D of advanced nuclear systems**

- a) Current status of fast reactor cycle technology development (FaCT),
Project in Japan (S. Kondo) – 40 min
- b) Future Nuclear Energy Systems : toward Sustainable Renaissance (Ph Pradel)- 40 min

11.20 – 11.35 **BREAK**

11.35 - 13.00 **Toward the future generation nuclear systems**

- a) Current status of Monju and Joyo (JAEA) – 15 min
- b) Current status of advanced fuel cycle R& D (JAEA) – 15 min
- c) Current status and Plan of HTTR (JAEA) – 15 min
- d) Fast reactor R & D plan in CEA (J-L Carbonnier, CEA) – 15 min
- e) Phenix end of life tests (J Rouault, CEA) - 15 min
- f) JHR collaboration (D. Iracane) – 15 min

13.00 – 14.30 **LUNCH – building 103, Director lounge**

14.30 – 16.15 **Current status and future prospects on the japanese-French collaboration**

JAEA-CEA collaboration :

- Reactor Research & Advanced Nuclear Energy System
- Advanced fuel cycles
- Nuclear Science
- Decommissioning and waste management
- Research infrastructures

CRIEPI-CEA collaboration

16.15 – 17.15 **Others**

- a) Redaction of a press communiqué– 40 min
- b) Next meeting – 10 min
- c) Conclusion – 10 min

18.30 – 20.00 – Official dinner at the “*Château de Cadarache*”

November 9th, 2007

9.00 – 10.00 General presentation of Cadarache activities
and presentation of JHR project

10.00 – 11.00 Visit of the Laboratory UO₂

11.00 – 12.00 Visit of POSEIDON facility, for thermal-hydraulics studies

12.00 – 14.00 LUNCH – building 103, Director lounge

(仮訳)

将来世代の原子炉及び核燃料サイクルシステムの研究開発に関する日仏専門家

会合 アジェンダ

場所：フランス - CEA カダラッシュ・センター

2007年11月8日

9:00 ~ 10:00 開会挨拶

- a) フランスの原子力の現状(高等教育研究省、エコロジー・持続可能開発整備省)
- b) 日本の高速増殖炉サイクルの研究開発計画(文科省)
- c) 日本の原子力の現状(経産省)

10:00 ~ 11:20 先進原子力システムの研究開発の現状及び長期展望

- a) 高速炉サイクル技術開発の現状(JAEA)
- b) 将来の原子力システム：持続可能なルネサンスに向けて(CEA)

11:20 ~ 11:35 (休憩)

11:35 ~ 13:00 将来世代の原子力システムに向けて

- a) もんじゅ及び常陽の現状(JAEA)
- b) 先進燃料サイクル研究開発の現状(JAEA)
- c) HTTR の現状と計画 (JAEA)
- d) CEA における高速炉研究開発計画 (CEA)
- e) フェニックスとエンド・オブ・ライフ試験 (CEA)
- f) JHR 協力 (CEA)

13:00 ~ 14:30 (昼食)

14:30 ~ 16:15 日仏協力の現状と将来の展望

JAEA - CEA 協力

- ・ 原子炉研究及び先進原子力システム
- ・ 先進燃料サイクル
- ・ 原子力科学
- ・ デコミッショニング及び廃棄物管理
- ・ 研究施設

電中研 - CEA 協力

16:15 ~ 17:15 その他

- ・ プレス・コミュニケ作成
- ・ 次回会合
- ・ 結論

以上